

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月9日

【四半期会計期間】 第129期第1四半期(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

【会社名】 オーベクス株式会社

【英訳名】 AuBEX CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 栗原則義

【本店の所在の場所】 東京都墨田区両国四丁目31番11号

【電話番号】 東京(6701)3200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 野北明臣

【最寄りの連絡場所】 東京都墨田区両国四丁目31番11号

【電話番号】 東京(6701)3200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 野北明臣

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第128期 第1四半期 連結累計期間	第129期 第1四半期 連結累計期間	第128期
	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	827,732	1,101,793	3,890,155
経常利益 (千円)	6,296	117,200	343,380
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失() (千円)	6,408	96,138	292,022
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	28,982	120,207	343,468
純資産額 (千円)	2,525,565	2,965,833	2,890,818
総資産額 (千円)	5,316,035	5,781,329	5,676,003
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は四半期純損失金額() (円)	0.48	6.97	21.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	46.8	51.2	50.8

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策に対する期待感から円安・株高が進行し、輸出の回復による生産の増加や企業業績の改善など景気回復に向けた兆しが顕著にあらわれております。しかしながら、海外においては、欧州経済の低迷、中国の景気減速など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは、売上の拡大、コスト削減、製品開発の強化に努めました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,101百万円(前年同四半期比33.1%増)、営業利益は、110百万円(前年同四半期比378.5%増)、経常利益は、117百万円(前年同四半期 経常利益6百万円)、四半期純利益は、96百万円(前年同四半期 四半期純損失6百万円)となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

(テクノ製品事業)

テクノ製品事業は、円安の進行などもあり、輸出売上が順調に推移した結果、売上高は、853百万円(前年同四半期比40.7%増)、セグメント利益(営業利益)は、173百万円(前年同四半期比101.7%増)となりました。

(メディカル製品事業)

メディカル製品事業は、医療費抑制策の影響や公定償還価格の引き下げ、競業他社との市場競争など厳しい状況が続いておりますが、主力のインフューザー(薬液注入器)の拡販に努めた結果、売上高は、247百万円(前年同四半期比12.1%増)、セグメント利益(営業利益)は、4百万円(前年同四半期 営業損失5百万円)となりました。

(2) 財政状態の分析

資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ105百万円増加し、5,781百万円となりました。これは主に、現金及び預金115百万円の増加、受取手形及び売掛金37百万円の増加、原材料及び貯蔵品32百万円の増加、その他流動資産58百万円の減少、商品及び製品20百万円の減少などによるものです。

負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ30百万円増加し、2,815百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金67百万円の増加、その他流動負債100百万円の増加、短期借入金38百万円の減少、未払法人税等36百万円の減少、長期借入金41百万円の減少などによるものです。

純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ75百万円増加し、2,965百万円となりました。これは主に、利益剰余金50百万円の増加、為替換算調整勘定17百万円の増加などによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は16百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,463,116	15,463,116	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株であります。
計	15,463,116	15,463,116		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		15,463,116		1,939,834		484,958

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 357,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,916,000	14,916	
単元未満株式	普通株式 190,116		
発行済株式総数	15,463,116		
総株主の議決権		14,916	

- (注) 1 完全議決権株式(その他)欄の普通株式のうち、1,310,000株につきましては、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)(東京都中央区晴海1丁目8番12号)へ拠出しております。
2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式365株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) オーベクス株式会社	東京都墨田区両国 4 - 31 - 11	357,000		357,000	2.31
計		357,000		357,000	2.31

- (注) 当社は、「株式給付信託」の導入に伴い、平成24年3月12日付けで自己株式1,310,000株を資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)(東京都中央区晴海1丁目8番12号)へ拠出しております。なお、自己株式数については、平成25年3月31日現在において信託E口が所有する当社株式(1,310,000株)を自己株式数に含めておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人グラヴィタスによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,098,454	1,214,106
受取手形及び売掛金	1,055,541	1,092,679
商品及び製品	221,141	200,902
仕掛品	710,303	691,484
原材料及び貯蔵品	187,002	219,760
繰延税金資産	90,431	84,761
その他	165,041	106,904
貸倒引当金	114	115
流動資産合計	3,527,802	3,610,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,951,401	1,967,154
減価償却累計額	1,289,722	1,304,895
建物及び構築物(純額)	661,679	662,258
機械装置及び運搬具	2,187,810	2,235,627
減価償却累計額	1,791,469	1,820,244
機械装置及び運搬具(純額)	396,341	415,382
土地	722,523	722,523
リース資産	114,281	59,649
減価償却累計額	102,957	50,884
リース資産(純額)	11,324	8,764
建設仮勘定	3,968	6,053
その他	346,504	349,486
減価償却累計額	263,732	269,227
その他(純額)	82,771	80,259
有形固定資産合計	1,878,608	1,895,242
無形固定資産		
特許権	10,426	9,795
その他	10,925	11,899
無形固定資産合計	21,351	21,695
投資その他の資産		
投資有価証券	140,199	148,449
長期貸付金	800	320
出資金	210	210
繰延税金資産	1,365	-
その他	140,804	140,557
貸倒引当金	35,650	35,813
投資その他の資産合計	247,730	253,722
固定資産合計	2,147,690	2,170,660
繰延資産		
社債発行費	510	185
繰延資産合計	510	185
資産合計	5,676,003	5,781,329

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	388,452	455,705
短期借入金	38,500	-
1年内返済予定の長期借入金	166,850	164,850
1年内償還予定の社債	115,000	115,000
リース債務	6,077	4,425
未払法人税等	46,726	10,677
賞与引当金	62,098	39,057
その他	172,137	272,326
流動負債合計	995,843	1,062,041
固定負債		
長期借入金	1,439,580	1,400,230
リース債務	5,653	4,889
繰延税金負債	1,550	2,074
再評価に係る繰延税金負債	36,799	36,799
退職給付引当金	296,110	304,149
負ののれん	8,673	4,336
その他	975	975
固定負債合計	1,789,341	1,753,453
負債合計	2,785,185	2,815,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,939,834	1,939,834
資本剰余金	496,036	496,043
利益剰余金	713,852	764,673
自己株式	191,749	191,631
株主資本合計	2,957,973	3,008,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,957	9,649
土地再評価差額金	82,312	82,312
為替換算調整勘定	3,743	21,377
その他の包括利益累計額合計	74,611	51,285
少数株主持分	7,456	8,199
純資産合計	2,890,818	2,965,833
負債純資産合計	5,676,003	5,781,329

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	827,732	1,101,793
売上原価	576,076	748,703
売上総利益	251,656	353,090
販売費及び一般管理費	228,551	242,533
営業利益	23,104	110,557
営業外収益		
受取利息	173	214
受取配当金	1,668	513
貸倒引当金戻入額	11	-
負ののれん償却額	4,336	4,336
為替差益	-	9,679
その他	1,349	2,118
営業外収益合計	7,540	16,862
営業外費用		
支払利息	10,186	7,483
為替差損	9,722	-
その他	4,439	2,735
営業外費用合計	24,348	10,219
経常利益	6,296	117,200
特別損失		
たな卸資産廃棄損	-	5,997
固定資産除却損	1,294	-
特別損失合計	1,294	5,997
税金等調整前四半期純利益	5,002	111,203
法人税、住民税及び事業税	1,504	8,937
法人税等調整額	10,459	5,383
法人税等合計	11,963	14,321
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	6,961	96,881
少数株主利益又は少数株主損失()	553	743
四半期純利益又は四半期純損失()	6,408	96,138

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	6,961	96,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,172	5,691
為替換算調整勘定	12,848	17,633
その他の包括利益合計	22,021	23,325
四半期包括利益	28,982	120,207
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,429	119,464
少数株主に係る四半期包括利益	553	743

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
(連結納税制度の適用)	当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	36,762千円	27,562千円
支払手形	89,164 "	75,401 "
その他(設備関係支払手形)	5,554 "	"

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	45,262千円	47,476千円
負ののれんの償却額	4,336 "	4,336 "

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	45,350	3.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	45,317	3.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	606,289	220,848	827,138	594	827,732
セグメント間の内部売上高 又は振替高				7,290	7,290
計	606,289	220,848	827,138	7,884	835,022
セグメント利益又は損失()	85,860	5,056	80,803	4,362	85,165

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	80,803
「その他」の区分の利益	4,362
全社費用(注)	62,060
四半期連結損益計算書の営業利益	23,104

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	853,349	247,474	1,100,823	970	1,101,793
セグメント間の内部売上高 又は振替高				7,290	7,290
計	853,349	247,474	1,100,823	8,260	1,109,083
セグメント利益	173,215	4,320	177,536	4,894	182,430

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	177,536
「その他」の区分の利益	4,894
全社費用(注)	71,873
四半期連結損益計算書の営業利益	110,557

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(有価証券関係)

四半期連結財務諸表規則第17条の2の規定に基づき、注記を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()	0円48銭	6円97銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額() (千円)	6,408	96,138
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額() (千円)	6,408	96,138
普通株式の期中平均株式数 (株)	13,485,952	13,796,086

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 8 日

オーベクス株式会社
取締役会 御中

監査法人グラヴィタス

指定社員
業務執行社員 公認会計士 木 田 稔 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 藤 本 良 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオーベクス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オーベクス株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。